

ドイツにおける大学スポーツに関する報告 — Hochschulsport Münster を事例に —

平塚卓也¹⁾

Report on University Sport in Germany: A Case Study of Hochschulsport Münster

Takuya HIRATSUKA¹⁾

1. はじめに

本報告は、Hochschulsport Münster を事例にしてドイツにおける大学スポーツ (Hochschulsport) 事情について報告するものである。日本の大学においては、運動部活動や同好会に所属して課外活動としてのスポーツ活動を実施するというのが一般的であり、また、近年では米国の NCAA をモデルとして大学スポーツ振興に関する政策が立案・実施されている状況にある。一方、市場 (1998) によれば、ドイツの大学スポーツのプログラムと実際の活動は大学がその構成員に対して提供する福利厚生事業として位置づいており、米国や日本とは異なる形で展開されている。以上から、ドイツにおける大学スポーツの事情を知ることは大学スポーツの多様な在り方を考えるうえでの有益な資料となると考えた。

本報告は、ミュンスターという1都市における事例に過ぎないという限界があるが、日本において、ドイツの大学スポーツ事情に関しては、管見の限り、市場 (1991) 及び市場

(1998) によって紹介されているのみであるという現状に鑑みれば、本報告も一資料としての価値を有すると考える。本報告では、まず、Hochschulsport Münster の概要について述べたのちに、筆者が参加していた体操競技 (Turnen) のコースについて活動の様子を報告する。

2. Hochschulsport Münster の概要

Hochschulsport Münster では、毎週、約150のプログラムに25000人以上の人が参加している¹⁾。以下では、プログラム及び参加資格について概説する。

2.1 プログラム

サマー/ウインターセメスター及びセメスター間の休暇期間ごとにプログラムが提供されており、2019/20年のウインターセメスターにおいて提供されているプログラムは以下の通りであり、おおまかにはスポーツ種目系、武道・武術・格闘技系、ダンス系、フィットネス系、その他に分類することができる。

第1に、スポーツ種目系としては、アーチェ

1) 筑波大学大学院／環太平洋大学

University of Tsukuba / International Pacific University

リー、アクロバティック、アメリカンフットボール、アルティメット、一輪車ホッケー (Einradhockey)、インドアサイクリング、インラインスケート、ウインドサーフィン、カヌー、クライミング、クイディッチ²⁾、クロスミントン、サッカー、ジャガー (Jugger)³⁾、乗馬、水泳、水中ラグビー、スカッシュ、スキー、スパイクボール、セーリング、体操競技 (Turnen)、ダイビング、卓球、ドッチボール、トライアスロン、トランポリン、乳幼児・子どものための水泳、バドミントン、バスケットボール、パルクール/フリーランニング、バレーボール、ハンドボール、フェンシング、フットサル、プレルボール、フロアボール、ボクシング、ホッケー、ボルダリング、野球/ソフトボール、ラクロス、ラグビー、ラート、陸上競技、レスリング、ロードバイク、Schnüffelspiele⁴⁾があった。

第2に、武道・武術・格闘技系としては、合気道、詠春拳、エスクリマ (Eskrima)⁵⁾、空手、カンフー、キックボクシング/ムエタイ、空拳柔術 (Gongkwon Yusul)⁶⁾、クラヴマガ⁷⁾、少林寺拳法、柔術、柔道、太極拳、テコンドー、八卦掌 (Baguazhang)、武道体験⁸⁾、和道流空手、MMA (Mixed Martial Arts)、Technik 36⁹⁾があった。

第3に、フィットネス系としては、アクアフィットネス¹⁰⁾、アレキサンダーテクニク、格闘ゲーム (Kampfspiele®)¹¹⁾、気功、キックボクシングフィットネス、筋膜トレーニング、クロストレーニング、コア・トレーニング、自律訓練法、出産後のフィットネス、ステップエアロビクス、ズンバ (Zumba®)、背骨の体操 (Wirbelsäulengymnastik)、背中のフィットネス (Rücken-Fitness)、漸進的筋弛緩法、タイムアウト (Auszeit)¹²⁾、ダンスフィットネス、パワーフィットネス、パンプ、肥満者のフィットネス、ピラティス、フェルデンクライス、フレキシバークアアウト¹³⁾、フラフープ、ボクシングフィットネス、ボディシェイプ、ボディバランス、ボディ&マインド、ボディワークア

ウト、マッサージ、メンタルトレーニング、ランニング、リラックス (Entspannung)、60歳以上のフィットネス、ヨガ、Barefoot¹⁴⁾、Body-Weight-Athletics¹⁵⁾、Calisthenics¹⁶⁾、Kopf frei¹⁷⁾、Kung Fun¹⁸⁾、MMA-Fitness¹⁹⁾、Ninletics²⁰⁾、Thai Bo Fitness²¹⁾があった。

第4に、ダンス系としては、オリエンタルダンス、カポエイラ、キゾンバ、サルサ、社交ダンス、ジャズダンス、即興ダンス、タンゴ、ダンス劇 (Tanztheater)、中世とルネサンスのダンス、バチャータダンス、バーレスクダンス、バンガラダンス (Bhangra Dance)、ビオダンサ (Biodanza)、ヒップホップ、フォホ、ポールダンス、モダンジャズダンス、リリカルダンスがあった。

第5に、その他として、囲碁、栄養とスポーツの講習、応急処置講習、キャンパスジム²²⁾、筋力トレーニングトレーナー、グループフィットネストレーナー講習、ケージカード²³⁾、ジャグリング、女性のための自己主張と自己防衛、性的暴力の防止 (証明書コース)²⁴⁾、即興劇 (Improvisationstheater) 大学スポーツの舞踏会 (Ball)²⁵⁾、チェス、デイベート、テニスカード²⁶⁾、テーブル・サッカー、ドッペルコップ (Doppelkopf)²⁷⁾、トレーナー講習、バレエ、ビーチカード²⁸⁾、ブリッジ²⁹⁾、ボードゲーム、ライフガード講習、eスポーツ、HSG³⁰⁾があった。

以上のように、非常に多種多様なプログラムが提供されている。スポーツ種目系においては、近代スポーツからニュースポーツまで幅広く扱われており、クイディッチ、水中ラグビーなど日本では馴染みのないスポーツも散見される。また、カヌーやスキーなどでは近隣諸国へのツアーも実施されている。一方で、スポーツ種目系以外のプログラムも充実しており、東洋武術などヨーロッパ圏以外を発祥とするものも多く取り入れられている。さらに、囲碁、チェス、eスポーツのように日本ではスポーツとして扱うかの議論の余地があるものもプログラムとして提供されている。その他、トレーナー資

格を得るための講習会なども行われている。

2.2 参加資格

Hochschulsport は、基本的には学生を中心とした大学関係者を参加の対象者としているが、上述のプログラムに子どもや高齢者を対象としたプログラムがあるように例外も存在する。また、参加資格は表1のように4つのカテゴリーに分けられている³¹⁾。このグループ分けは参加費用とも関係しており、第1グループ(学生)から第4グループ(ゲスト)にかけて段階的に参加費用が上昇していき、学生が費用面での優遇を受けることができるようになっている。また、ゲストは当該コースに空きがある場合のみに参加できるという制限もあるが、基本

的には18歳以上の全ての人々に参加の可能性が開かれているといえる。

3. 体操競技 (Turnen) コースの事例紹介

3.1 参加登録と活動の様子

まず、コースに参加するためには参加登録が必要である。2019/20年のウインターセマスタのコースは10月14日から開始されたが、その1週間ほど前からHochschulsport MünsterのHP上で参加登録をすることができた。体操競技コースの場合は、参加者の能力に応じて、A, A1, A2, F, WKが設定されている。各コースの概要は次の表2及び表3の通りである³²⁾。

表1 参加資格のグループ

グループ1
…ミュンスター大学及び連携単科大学の学生 …ミュンスター大学及びミュンスター応用科学大学の研修生
グループ2
…ミュンスター大学及び連携単科大学の従業員 …Förderkreises Hochschulsport Münsterの構成員 …ミュンスター大学において勉強している高齢の参加者
グループ3
…Alumni-Clubs WWU Münsterの構成員
グループ4
…上記のグループに当てはまらない人(ゲスト)

(Hochschulsport MünsterのHPより筆者訳出)

表2 各コースの説明

A	今までに一度も経験がない場合。学校での体操は親子体操と同じように経験がないものとみなす。
A2	このコースは、大学スポーツの体操競技の初心者コースに少なくとも1,2回定期的に参加した全ての体操競技者向けです。
A3	積極的かつ連続的にA2コースに参加した或いは体操競技の基礎的な技能を確実に習得している。
F	過去に数年、クラブで体操競技をしていましたか。その後、しばらく休み、現在は後転跳び、鉄棒のけ上がり又は前方倒立回転跳びがうまくできませんか。それならば、発展クラス(F)があなたに適切です。
WK	いま読んでいる際に私はできる、私はできる、または私はできると考えましたか? それならば、競技コースに登録すべきです。競技コースは、A-Fコースとは対照的に一部が指導されるだけで、自主的なトレーニングのための十分な自由行動の余地があります。

(Hochschulsport MünsterのHPより筆者訳出)

表3 各コースの詳細

細目	曜日	時間	場所	期間
A	火	17:00-19:00	USH 1	10/14-2/2
A2	月	16:00-18:00	USH 1	10/14-2/2
A3	金	16:00-18:00	USH 1,2	10/14-2/2
F	水	20:30-22:30	KreuzS	10/14-2/2
	木	21:00-23:00	USH	
WK	火	19:00-21:00	USH 1,2	10/14-2/2
	木	20:00-21:00	USH 1	

(Hochschulsport Münster の HP より筆者作成)



図1 活動の様子

筆者はこのうちの WK コースに参加した。HP 上で参加登録をするとモバイルチケットが E-Mail で送付される³³⁾。筆者は前掲表1のグループ1に該当し、当該コースの参加費用は1セメスターで25ユーロであり、支払いは口座からの引き落としであった。

つぎに、WK コースの活動様子であるが、図2に示す施設で練習を行った。体操競技のための基本的な器具は揃っているといえるが、高いレベルの練習を行うには不十分な練習環境であった。しかし、競技コースといえども競技レベルは高いとはいえず、また、参加者自体も競技会への出場を目的に練習しているわけではないので十分な練習環境であった。活動の流れとしては開始時間になったら器具を準備し、ウォーミングアップをし、各自練習、時間になったら器具を片付け、終了となる。ただし、全員が毎回参加し、始まりから終わりまでいるわけではない。器具の準備の都合で始まりは時間に合わせて来る人が大半であるが、基本的には各自が来たい日、来られる時間に来て、帰りたい時間、帰るべき時間に帰っていく。そのことについて周囲も気に留めている様子は全くない。この点は体操競技が個人競技であるという要因もあると考えられるが、集団での活動に対する日本人との考え方の違いが表れているといえる。なお、帰るタイミングで使わないものなどを多少片付けてから帰る場合が多い。また、各

回の参加者はおよそ20～30人程度であり、登録者自体は40～50人程度であると思われる。男性よりも女性の参加者の方が若干多く、年齢は20代が中心であるが、30代から50代の男性も数人程度活動していた。

3.2 運営面

以下では体操競技コースの運営面について指導者、施設、他組織との協力関係、財源などについて述べる³⁴⁾。

第1に、指導者は専任の指導者がいるわけではない。複数人がパートタイムの仕事としてそれぞれ担当しており、学生或いは卒業・修了後数年以内の若い年代が指導者として活動している。指導者は Deutscher Olympischer Sport Bund の指導者資格³⁵⁾を保有している有資格者と保有していない無資格者に分けられる。無資格者の場合は、指導者になりたい意思を表明し、代表者の承認を受けることができれば指導者として登録することができるので、すべての人が指導者になる機会を与えられている。一方で、有資格者は1時間あたり12ユーロ、無資格者は1時間あたり9ユーロの報酬を受け取ることになっており、有資格者と無資格者では報酬面での明確な差が存在する³⁶⁾。これは、指導者に資格取得を促すための1つの方策であるといえ、その他にも前述のプログラムのよう指導者研修のコースが開催されており、

Hochschulsport は指導者の質を保証するためのいくつかの方策を実施している。しかしながら、指導者が若い年代のパートタイムであるため、実際には入れ替わりが激しく、質の高い指導が安定的に行われているわけではない。例えば、体操競技コースでは WK コースのメンバーが F コースの指導を担当しているが、ある日の練習ではその日の F コースの指導を誰か担当するかという話し合いをコース開始の 30 分ほど前にするなど十分な計画性がない場合もあった。また、日によって指導者が変わるなど、参加者にとっては必ずしも良いとはいえない側面もある。ただし、競技スポーツとして練習しているわけではないので、定期的なスポーツ活動を保証するための柔軟な対応と捉えることもできる。

第 2 に、施設はミュンスター大学の体育館 (Universitätssporthalle) 及びミュンスター市の基礎学校 (Grundschule)³⁷⁾である Kreuzschule の体育館を使用している。A コースから WK コースの活動、合計週 7 回のうち、大学の体育館が 6 回、基礎学校の体育館が 1 回であり、基本的には大学施設を使用して活動している。その一方で、基礎学校の体育館を使用することができるのは次に述べる他組織との関係による。

第 3 に、他組織との協力関係として、Hochschulsport とミュンスター市のスポーツフェライン (Turngemeinde Münster von 1862 e.V., 以下、TG Münster)³⁸⁾との間にパートナーシップが存在している。このパートナーシップは、Hochschulsport 及び TG Münster 所属の体操競技者が施設及び活動を共有するというものである。例えば、水曜日 (20:30-22:30) の活動は、Hochschulsport の F コースの活動であるが、同時に TG Münster の Turnen 部門の活動にも該当しており、両組織の共同活動としてパートナーシップが機能している。一方で、パートナーシップは個人レベルに対しても機能している。例えば、筆者の場合は Hochschulsport のコースに登録しているので Hochschulsport の

メンバーであるが、パートナーシップを利用することによって TG Münster の活動にも特別な費用を要することなく参加できる。例えば、筆者は Hochschulsport では WK コースに登録しているので F コースの活動には参加できないが、TG Münster の活動には参加できるので、結果的に水曜日の活動にも参加することが可能となっている³⁹⁾。また、基礎学校の体育館の使用に関しては、TG Münster とミュンスター市の関係に基づいている。ミュンスター市は基礎学校の所有者であり、スポーツ振興の観点から TG Münster に対して体育館の使用を認め、その活動を支援している。そして、前述した TG Münster と Hochschulsport のパートナーシップに基づくことによって、Hochschulsport の活動においても基礎学校の体育館が使用できている。このような組織間の関係に基づいて施設が確保され、活動が実施されている。

第 4 に、Hochschulsport の予算の大部分は参加費からの収入であり、その他、州の資金、大学のセメスター費用、Förderkreises Hochschulsport Münster の資金などからの援助を受けている。これらの財源から、指導者への報酬、用具の購入、トレーナー研修コースへの補助などが実施されている。

4. おわりに

初心者であっても多様なプログラムに 1 セメスター単位から安価な費用で参加する機会が確保されていることは Hochschulsport の特徴の 1 つであるといえる。本報告では体操競技コースのみしかその実態に触れることができなかったが、それぞれの種目において関係組織との連携などを通じた対応によって指導者や施設の確保など、スポーツ活動の機会を保証するための取組が実施され、大学関係者の生涯スポーツの場として機能しているといえる。

転じて、日本の大学スポーツに関する議論に目を向ければ、昨今の議論は競技スポーツを中心に展開されているといえる。しかしなが

ら、大学スポーツの果たす役割は競技スポーツに対してだけではないはずである。大学スポーツが生涯スポーツに対して果たす役割も視座に入れ、さらに議論を深めていく必要があるだろう。その際にドイツの Hochschulsport は1つの参考事例になると考えられ、今後、さらに多様な事例や詳細な調査研究が必要である。

【注】

- 1) 以降、特別に注記しない限りは Hochschulsport Münster の HP を参照している。Hochschulsport Münster, <https://www.uni-muenster.de/Hochschulsport/>, 最終閲覧日：2020年1月14日。なお、本報告の内容は、新型コロナウイルスの感染拡大前の時点におけるものである。
- 2) 映画「ハリーポッター」に登場したスポーツを起源としたもの。
- 3) 「The Salute of the Jugger」という映画作品のために開発されたスポーツが競技化されたものであり、1990年代以降に欧米を中心に行われている。
- 4) 毎週、様々なスポーツをするプログラム。
- 5) フィリピンの武術。
- 6) 韓国の武術。
- 7) イスラエルの軍で開発された接近格闘術。
- 8) 初心者のために柔道、ボクシング、少林拳法などが体験できるコース。
- 9) 格闘技の一種。
- 10) 通常のコースとは別に、妊婦のためのアクアフィットネス、肥満者のためのアクアフィットネスのコースもある。
- 11) 縄の引き合い、マットの押し合いなどによる格闘であり格闘技とは若干異なる。また、子どもと学生が交流して実施するプログラムも用意されている。
- 12) Hochschulsports のトレーナーが職場に来て、15分程度、ストレッチなどの実施をサポートするプログラム。
- 13) フレキシバー (Flexibar) は、日本ではボ

ディブレードと呼ばれ、健康器具として用いられている。

- 14) 裸足での意識的なウォーキングとランニング。
- 15) 高強度の自重トレーニングの組み合わせ。
- 16) 自重での筋力トレーニング。
- 17) リラクゼーションのためのエクササイズ。
- 18) カンフーを基本にしたエクササイズ。
- 19) Mixed Martial Arts を利用したフィットネス。
- 20) 日本のテレビ番組「SASUKE」のようなコースを利用したフィットネス。
- 21) テコンドー、ボクシング、エアロビクスが組合せられたフィットネス。
- 22) 大学のジムを利用するためのもの。
- 23) コース以外でケージのサッカー場を利用するためのもの。
- 24) HP 上には詳しい説明はなかったが講習会と考えられる。
- 25) 1セメスターに1日だけ開催される。
- 26) テニスのコースに参加する以外でテニスコートを利用するためのもの。
- 27) カードゲームの1種。
- 28) コース以外でビーチコートを利用するためのもの。
- 29) カードゲームの1種。
- 30) HP 上では詳しい内容を確認できなかった。
- 31) 表1中のミュンスター大学 (Westfälische Wilhelms-Universität Münster) は15学科に約43,000人の学生が在籍している総合大学である。連携単科大学にはミュンスター応用単科大学 (Fachhochschule Münster) の他、Deutsche Hochschule der Polizei, Katholische Hochschule Nordrhein-Westfalen, KUNSTAKAMEMIE MÜNSTER, Philosophisch-Theologische Hochschule Münster の4つの単科大学 (Hochschule) がある。また、Förderkreises Hochschulsport Münster は Hochschulsport の支援組織であり、

Alumni-Clubs WWU Münster はミュンスター大学の同窓会組織である。

- 32) 表3中, 場所のUSHは Universitätssporthalle (ミュンスター大学の体育館) の略である。また, WK コースの木曜日は 20:00~21:00 となっているが, 実際にはFコースと連携し 21:00~23:00 の間も練習できるようになっている。
- 33) まれに体育館の入り口においてコントロールと称する参加資格確認が行われるので, 参加時には同チケットを携帯しておく必要がある。
- 34) 以下の内容は, HP の情報に加え, Hochschulsport の指導者への聞き取り調査に基づいている。
- 35) 同資格は上から順に A, B, C という区分けが存在するが, C ライセンスを保有していれば有資格者として認められる。
- 36) 指導者の報酬については Hochschulsport の規定に基づいており, 基本的にはどの種目でも同様である。
- 37) ドイツでは, 一般的に6歳に達した子どもが基礎学校へと進学し, 10歳まで4年間の教育を受けることになっている。日本の

小学校における1年生から4年生までに相当する。

- 38) TG Münster に関してはTG Münster のHPを参照している。Turngemeinde Münster von 1862 e.V., <https://tg-muenster.de>, 最終閲覧日: 2020年1月14日。
- 39) この他にもTG Münster 単独の活動がある。

【参考文献】

- 市場俊之, ドイツにおける大学スポーツの成立と現状, 体育研究第32号, 70-76, 1998.
- 市場俊之, チュービンゲン大学の大学スポーツ (Hochschulsport) 紹介, 大学体育18巻2号, 115-118, 1991.

【付記】

本報告の内容は, 筆者のミュンスター大学滞在時 (2019年10月から2020年3月) に得た情報に基づいている。同滞在は, 筑波大学とミュンスター大学の協定を利用したものであり, この場を借りて関係各位にお礼申し上げます。